

## Model 04

厚生労働省  
東京労働局品川労働基準監督署  
第2方面主任監督官



つねよし えみ  
**恒吉 恵美**  
Emi Tsuneyoshi

### Profile

- 平成10年・厚生労働省大阪労働局入局(労働基準監督官採用)  
大阪中央労働基準監督署(方面)  
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成13年・東京労働局新宿労働基準監督署(方面)  
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成18年・渋谷労働基準監督署(方面)  
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成19年・～長女出産  
育児休業(約1年7か月)
- 平成21年・三田労働基準監督署(方面)  
労働基準法等に基づく事業主への監督・指導業務
- 平成22年・～長男出産  
育児休業(約8か月)
- 平成25年・大田労働基準監督署第4方面主任監督官  
最低賃金関係業務及び管理業務
- 平成26年・三田労働基準監督署第4方面主任監督官  
3次産業労働条件確保・改善関係業務及び管理業務
- 平成28年・品川労働基準監督署第2方面主任監督官  
～現在  
労働安全衛生業務及び管理業務

※経歴一部省略

## 子供の頑張りを力

### 仕事と子育ての両立

私は、最初に大阪中央労働基準監督署に赴任して以降、労働基準監督官として、労働基準法等に基づき事業主に対する監督・指導業務を担当してきました。

東京へ異動し数年経ち、一人目を妊娠しました。妊娠中は、都心の混み合う通勤電車を避けるために、通勤時間をずらす措置を取らせてもらいました。初めての子供で、少しでも多く関わりを持ちたいと思い、当初は子供が3歳になるまで育児休業を取得しようと考えていましたが、保育園の入園事情も考慮し、実際には育児休業は約1年半取得しました。

育児休業からの復帰の際には、幸い、認可外でしたが保育園に入園できました。その後は、育児時間を1日につき最大の2時間取得しながらの勤務となりましたが、上司や先輩の協力を得ながら何とか仕事と子育てを両立することができました。

職務復帰してから約1年経ち、二人目を妊娠しました。一人目と同じ保育園へ入園させるには、二人目は0歳児から入園させるのがベストと考え、育児休業を1年弱取得した後、再度職場へ復帰しました。

幸い、子供二人は同じ保育園に入園できました。子供が一人の時に比べ、二人になると、その時間は単に2倍ではなく、10倍くらいに感じました。子供が発熱した場合などは、基本的には私が仕事を調整するようにはしていましたが、主人はもちろん、お互いの両親にも大いに助けをもらい、日々を過ごしました。

### 仕事の取り組み方

育児休業中は子育て中心の生活ではありませんでしたが、法改正等があったので、新聞をよく読んで、同僚から情報収集をしたり、復帰後なるべくスムーズに業務を再開できるよう心掛けました。

## に、日々チャレンジを

業務からしばらく離れていたため、復帰直後は上司や先輩に迷惑を掛けることもありましたが、仕事はなるべく前倒しで、効率よく行うよう努め、自分のできる範囲の仕事を日々精一杯やってきました。また、子供の発熱等による急な休暇取得に備え、処理中の事案についての外部からの問合せに他の職員が対応できるようにするため、書類を分かりやすく整理することにも気を配りました。

### 昇任後のやりがい

労働基準監督署の主任になり部下を持つようになりました。時間が限られているので、積極的に部下とコミュニケーションを取るようになっています。また、主任として担当分野を持つようになり、企画立案から実行に至るまでのマネジメントを確実に行うリーダーとしての役割を任されるようになりました。広い視野で行政の取組を考える必要が生じ、これまでとは違ったやりがいを感じるようになりました。

### 子供たちと一緒に

上の子の就学に当たり、夫婦二人で対応することが難しくなってくるだろうと考え、私の実家のごく近所に引っ越しました。

上の子は小学生、下の子は年長になり、徐々に子育てが落ち着いてきて、勤務時間を延ばせるようになったため、現在では育児時間を1日30分だ

け取得して勤務しています。それでも、保育園の送迎に加え、学校行事やPTA活動など、活動の幅も広がってきましたので、これからも、職場の理解や周りの協力を得ながら、仕事と子育ての両立を続けていければと思っています。何より頑張っているのは子供たちです。子供たちと一緒に私も頑張っていこうと思います。



### 一日のタイムスケジュール例

- 6:00 起床、身支度
- 7:00 家族皆で朝食
- 7:45 小学生の送り出しがてら出勤、保育園児の保育園送りは夫と交代で
- 9:00 勤務
- 17:15~30 退勤
- 18:30 保育園にお迎え
- 18:50 保育園児を連れて帰宅  
すぐさま夕食準備
- 19:00過ぎ 子供たちと夕食
- 19:30以降 子供たちを入浴させる  
小学生の宿題や時間割を確認
- 21:00以降 子供たちを就寝させる

### 女性職員のメッセージ

公務員は、仕事と育児を両立しやすい環境にあると思いますが、子供の頑張りがあってこそ、自分が仕事を続けられるということをお忘れにはいけないと思います。